

※本リリースは 2025 年 6 月 26 日に Swift が配信した[英語版](#)の抄訳です。

Swift が主要イベント「Sibos」の開催地域拡大を発表、パリとドバイを今後の開催地に選定

- 50 周年は 2028 年パリにて開催
- 2029 年は初めて中東地域ドバイでの開催を予定
- 2029 年以降、Swift はグローバルな金融包摂性の強化を目的に、Sibos をアジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカの経済成長地域で 4 年ごとに開催

2025 年 6 月 26 日ブリュッセル発 - Swift は本日、グローバルな主要イベント「Sibos」(サイボス)の今後 10 年間の開催都市を発表しました。金融業界における主要会議である Sibos は今後、アジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカを含む、成長経済圏の金融包摂性を強化していきます。

フランクフルト (2025 年)、マイアミ (2026 年)、シンガポール (2027 年) に続き、Sibos が開始されてから 50 周年の記念の年となる 2028 年は初めてパリで Sibos を開催します。パリの金融プロモーション組織 Paris EUROPLACE によると、フランスの首都パリは金融業界に約 34 万人が従事しており、欧州の金融ハブの中でも最高水準を誇っています。

2029 年には、ドバイで開催予定です。ヨーロッパ、アジア、アフリカを結ぶ中東は、貿易と投資の流れを促進する世界金融における戦略的地域です。その立地から「アフリカへの玄関口」とも呼ばれているドバイには、2004 年の設立以来、著しい成長を遂げているグローバル・ハブ、ドバイ国際金融センター (DIFC) があります。DIFC には現在約 7,000 の企業が拠点を置き、湾岸協力会議 (GCC) 加盟国のフィンテック業界の大部分も集積しています。

2029 年には、Sibos 開催地の新たなローテーションも始まります。この世界的なイベントは、これまでヨーロッパ、北米、アジア太平洋の 3 地域内の主要な金融センターで順番に開催されてきました。ドバイを皮切りに、Swift はアジア、中東、アフリカ、ラテンアメリカの成長経済圏でこのイベントを 4 年ごとに開催し、200 以上の国と地域において 11,500 以上の機関にサービスを提供する Swift のグローバル・インフラの多様性と包括性を、より一層反映させることを目指します。

Swift のチーフ・コーポレート・オフィサー、ローズマリー・ストーンは次のように述べています。

「Swift は、グローバル金融業界のリーダーとして業界の結節点としての役割を担っており、Swift のネットワークが拡大し続ける中、Sibos を世界中のより多くの場所で開催できることを喜ばしく思います。Sibos ほど大規模に業界が一堂に会するイベントは他にはありません。業界が急速な技術革新と高まる分断化のリスクに直面する中、このイベントでの討論や議論にさらに多くの視点が加わることは、ますます価値のあるものとなることでしょう」

Sibos の開催地域拡大は、Swift のインフラがこれまで以上に活用されている中で実現されます。Swift は昨年、過去最高のトラフィックを記録し、15 年間で最も高い前年比成長率を達成しました。これは Swift を利用する世界中の機関にとって、Swift がますます重要な役割を果たしていることを示しています。

1978 年に初めて開催された Sibos は、Swift コミュニティが一堂に会し、決済、証券、資金管理、貿易の分野で意見交換、討論、協力する機会を提供しています。毎回 Sibos には、金融サービス部門から 1 万人以上の参加者が集まります。開催都市は、大会の数年前に競争入札によって決定されます。金融センターであることに加え、技術インフラ、物流インフラ、大規模な会議施設を有していることも重要な要件です。

Sibos は、2020 年に新型コロナウイルス感染症のパンデミックによりオンライン開催となりましたが、2022 年に対面式での開催が再開されて以来、バーチャル参加も選択肢のひとつとなっています。

Swift（国際銀行間通信協会）について

Swift はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。Swift は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、識別、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

Swift は 200 を超える国と地域における 11,500 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。Swift 自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理することはありませんが、コミュニティのユーザーが標準化された金融メッセージを安全かつ確実に交換できる手段を提供することで、世界中の金融取引や貿易・商取引を支えています。

Swift は信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティに対しサイバー攻撃への対処を支援しています。また、コスト削減、リスク軽減、業務効率の改善に常に取り組んでいます。Swift の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、リファレンスデータと金融犯罪コンプライアンスへの対応をサポートしています。さらに、Swift はグローバル・地域・国内レベルで金融コミュニティを結びつけ、市場慣行の形成、標準化、共通の関心事項に関する議論を推進しています。

ベルギーに本部を置く Swift は、国際的なガバナンスと監督体制を通じて、共同組合のグローバルな包括性を強化しています。また、グローバルなオフィスネットワークを通じて、世界中の主要な金融センターで積極的に活動しています。